

# 1 2 3

文教大学付属小学校

算数だより

12月号

算数科 大塚 隆夫

## 文教小の子どもたち、かけ算をがんばっています！

2年生はかけ算を学習しています。1の段から9の段までを覚えて、下から、上から、ばらばらにと覚えています。目をつぶって大きな声で暗唱するのを見ると応援したくなってしまいます。『九九名人カード』を使って、かけ算マスターを目指しながらも九九ビンゴで楽しんだりしています。4年生では、かけ算を使って計算の工夫をしていました。60を $6 \times 10$ に分解して計算することで計算をやりやすくしたり、計算の順番を変えて「速く簡単に正確に」できる計算を目指します。5年生では小数を含めた計算の工夫が入ってきます。位取りがずれないように、4年生までに学習した十倍、百倍、をしっかりと活用して計算をしています。学年が上になるほど、+、-、×、÷が混ざった計算をしています。計算の内容も少しづつ高度なものになっていっていきます。しかし、計算の基本は何も変わりません。



## チャレンジ！！計算の工夫をする問題

計算の工夫をして、問題をときましょう。

$$\square \times 27 \times 37 + 11 \times 12 \times 13 \times 14 = 48000 \quad (\text{14 東大寺学園})$$

ただ計算すると、とても大変ですが工夫をしてみるとスムーズに解ける問題です。みんなに挑戦してもらいたいです。6年生は考えて答えを出してほしいです。答えは大塚先生まで。

ヒント①  $48000 = 12 \times 2 \times 2000$  ←これに気づくことが大切！！

ヒント②  $11 \times 12 \times 13 \times 14 = 12 \times 14 \times 11 \times 13 = 12 \times 2 \times 7 \times 11 \times 13 = 12 \times 2 \times 1001$   
じゅん番を変えて… 分解して… 計算すると…

ヒント③  $27 \times 37 = 999$

ヒント④  $\square \times 999 = 12 \times 2 \times 2000 - 12 \times 2 \times 1001$



文教大学付属小学校  
算数だより  
12月号  
算数科 大塚 隆夫

## 買うの？買わないの？ 宝くじ



年末になると宝くじのコマーシャルがテレビで流れますね。皆さんのおうちでは、宝くじを買ったことがありますか？何等か当たったことはありますか？

1等はなんと 700000000円(7億円) で25枚！！

1等が当たる確率は、※20000000分(2千万分)の1で0.000005%です。

※ $0.000005\% = 1\text{等 } 25\text{枚} \div \text{宝くじの発行枚数 } 500000000\text{枚 (5億)} \times 100\text{分率}$

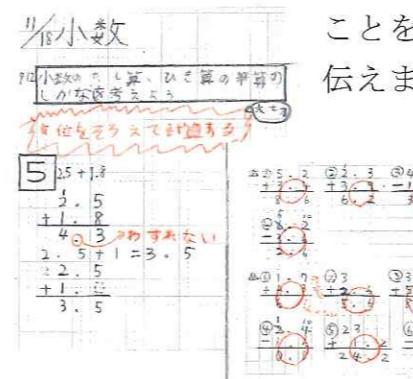
日本人全員、赤ちゃんからお年よりまでが宝くじを1枚ずつもっているとして、6人が当たるくらいの確率です。

大塚先生は宝くじをほとんど買わないし、7等300円しか当たったことがないのですが、1等が当たる人はどこかにいるのだから不思議なものですね。ためしに今年は一枚くらい買ってみようかな・・・。もしかして6等3000円くらいは当たるかな？

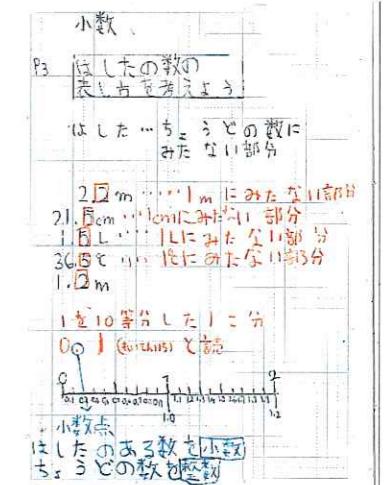


## 「まだ分からぬところがあるから聞いていい？」

授業に行くと子どもたちに話をします。「自分の考えをしっかりと表わすことの大切にしましょう、自分の考えを筋道を立てて相手にわかりやすく伝えましょう。なぜそうなのか、理由を説明しましょう。」



3年生は小数の勉強をしています。小数の学習では数直線を読み書きできるようになること、小数第一位以下の位取りをし、足し算引き算ができるようになることがとても大切です。とはいっても、初めての小数での数直線・足し算引き算はなかなか手ごわいです。一つ、印象深い出来事がありました。



ひとりの子が、授業のあとに質問にきました。

## 「先生、まだ分からぬところがあるから聞いていい？」

えらいなあと、思いました。自分の苦手をしっかりと分かっている子です。そして、自分の考えを伝えられる子です。算数が伸びる子です。続けていけば今は苦手な学習があっても一つずつできるようになっていき、きっと大きく力を持つことができる子だなあと、感心しました。

その後、その子とは一緒に勉強したあと、できたところまでを宿題にしてお家で確認していました。次の朝、職員室に来て小数の足し算、引き算の問題を確認しました。その後の単元のテストも質問した部分がしっかりと分かるようになりました。とてもうれしい出来事でした。

